

平成 29 年度第 1 回企画展

広重誕生 220 周年記念 浮世絵と広告

2017 年 4 月 4 日 (火) - 6 月 11 日 (日)

Part1 : 4 月 4 日 (火) - 5 月 7 日 (日)

Part2 : 5 月 9 日 (火) - 6 月 11 日 (日)

主催：静岡市東海道広重美術館

(指定管理者 特定非営利活動法人ヘキサプロジェクト)

協力：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団

企画概要

現代では美術作品として鑑賞されている浮世絵版画ですが、江戸時代では商業的なメディアとしても扱われていました。特に広告的な側面は強く、浮世絵版画の名所絵や当時の書物である版本に看板やのれんなどの広告媒体を描く、対象商品を描きこむなどの手法で商品の宣伝がなされていました。

また、幕末の開港より茶葉（お茶）の輸出が盛んになると、パッケージともいえる茶箱に貼るためのラベルが浮世絵版画の技術を用いて制作されました。茶箱絵と呼ばれたラベルは後にアルファベットを使用したことから「蘭字」と呼ばれるようになります。

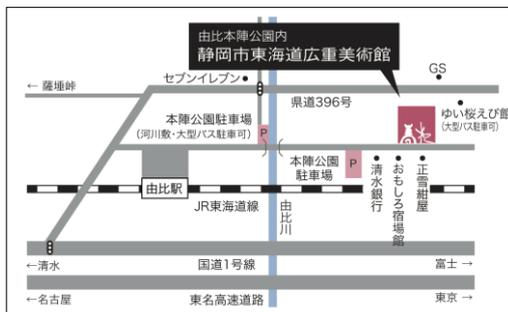
本展では浮世絵版画の中でも広告としての意味合いを含んだ名所絵を中心にご覧いただきます。また、茶箱絵の移り変わりを茶葉の輸出業の歴史と共にご紹介します。

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は閉館の 30 分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）※5 月 1 日（月）は臨時開館日となります

入館料：一般 510 円（410 円）／大学生・高校生 300 円（240 円）／中学生・小学生 120 円（100 円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の 70 歳以上の方は無料 ※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料 ※（ ）は 20 名以上の団体料金



交通案内

電車をご利用の場合

JR 東海道本線「由比」駅下車後 徒歩 25 分、タクシー 5 分

お車をご利用の場合

美術館無料駐車場 21 台（由比本陣公園駐車場）

■大阪・名古屋方面から

東名高速【清水 I.C.】から国道 1 号經由約 20 分

■東京・横浜方面から

東名高速【富士 I.C.】から国道 1 号經由約 25 分

本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

静岡市東海道広重美術館 〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp [facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

展覧会のみどころ

江戸時代の広告物

名所、名物、役者、歌舞伎の演目等、浮世絵は様々なものを宣伝し、広告物としても大いに活躍しました。わかりやすいものから意外なものまで、広告として用いられた浮世絵をご紹介します。また、江戸時代の看板の様子が見られる浮世絵や、紙媒体を用いた浮世絵以外の広告物を展示します。



Part 1 展示作品

歌川広重『東都名所 吉原仲の町桜之圖』当館蔵



Part 1 展示作品

歌川広重『名所江戸百景 大てんま町木綿店』当館蔵

お茶の輸出業と浮世絵

幕末の開港以降、お茶（茶葉）の輸出業が盛んになりました。そこで用いられる出荷用の茶箱には、浮世絵の技術を用いたラベルが貼られていました。本展覧会では実物のラベルをご紹介します。茶箱に貼られていたラベルなどが具体的にどのように使われていたのかを示します。



Part 1 展示作品

二代歌川広重『茶箱絵（朝顔と桜に燕）』

藤枝市郷土博物館当館蔵



Part 2 展示作品

作者不詳『茶箱絵（中国風花鳥画）』静岡市蔵

展示作品

名所絵（各種）

名所絵は名所そのものを宣伝していることはもちろん、至る所に広告が潜んでいます。例えば、お店に掲げられている看板には、そのお店の広告のみならず、浮世絵版画の刊行に携わった版元や絵師などの名前が書かれていることもありました。

今回は歌川広重と溪斎英泉が手掛けた『木曾海道六拾九次之内』、広重最晩年の作である『名所江戸百景』、江戸の有名な料理屋を描いた『江戸高名會亭盡』など多種多様な名所絵から厳選して、一味違った見方で名所絵をご覧ください。



Part 2 展示作品

歌川広重『名所江戸百景 する賀てふ』当館蔵



Part 1 展示作品

歌川広重『木曾海道六拾九次之内 費川』当館蔵

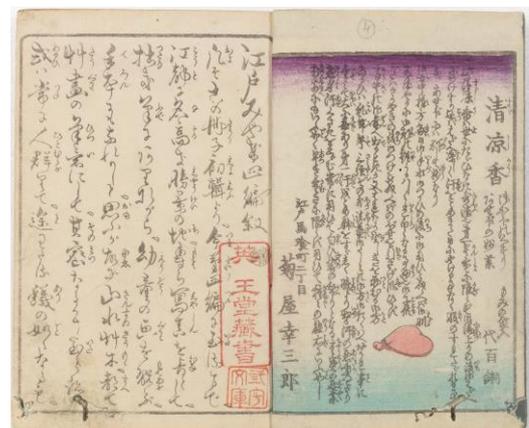


Part 2 展示作品

歌川広重『江戸高名會亭盡 三園之景』当館蔵

版本

当時の書物である版本も、作者によってはお世話になったお店を出して宣伝することもあったといえます。また、巻末に書誌目録を載せたり一ページ使って商品の宣伝をしたりする様子は現代の書物とほとんど変わりません。今回は十辺舎一九の『東海道中膝栗毛』や歌川広重の『絵本江戸土産』などから普段あまり見る事のない版本の一面をお楽しみいただけます。



Part 1 展示作品

歌川広重『絵本江戸土産 四編』当館蔵

展示作品

引札

引札は今でいうチラシやビラです。江戸時代にも文字のみが書かれた紙媒体による広告物がありました。本展では貴重な当時の版木も一緒に展示致します。

なお、引札につきましては静岡で実際に配られた大正時代と昭和時代の引札も展示致します。

全会期 展示作品
『引札版木』個人蔵



Part 1 展示作品
作者不詳『茶箱絵（桜型に花鳥）』静岡市蔵



Part 2 展示作品
作者不詳『蘭字（伊勢海老）』個人蔵

茶箱絵・蘭字

茶箱に貼られた茶箱絵は元々浮世絵風の絵でしたが、次第に中国風になり、最後はアルファベットを使用した蘭字となりました。本展覧会では輸出用に作られた茶箱用のラベルの移り変わりを、時代に沿って展示します。

こちらでも引札と同じく静岡所縁の資料を展示します。

関連企画

関連企画 1 / 浮世絵版画の実演 & 摺り体験ワークショップ

江戸時代の技法を今に継承する公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団による、浮世絵版画制作の実演と体験ワークショップ。お子さまから大人までご参加いただけます。

□講師：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団

□日時：5月3日(水・祝) 午前の部 11:00-12:30
午後の部 14:00-15:30

□参加費：無料 ※入館料別途

□定員(摺り体験)：各部 15名(要事前申し込み)

□申し込み：お電話(054-375-4454)またはWEBサイトにて申し込みください。

(先着順 ※定員になり次第受付を終了します)

関連企画 2 / 当館学芸員によるギャラリートーク

□日時：4月9日(日)、5月14日(日) 13:00-13:30

□参加費：無料 ※入館料別途

当日当館エントランスホールにお集まり下さい。(申し込み不要・定員制限無)

美術館概要

静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版画の揃物の名品を中心に約1400点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



三代歌川豊国『(広重死絵)』当館蔵

広重について

歌川広重（1797 - 1858） 浮世絵師

15歳頃に歌川豊広に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ62歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与え続けています。

広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記8点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



1



2



3



4



5



6



7



8

□作品名およびクレジット

- | | |
|----------------|------------------------------------------------|
| 1. 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art |
| 2. 歌川広重 | 『東都名所 吉原仲の町桜之圖』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 3. 歌川広重 | 『名所江戸百景 する賀てふ』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 4. 三代歌川豊国 | 『東海道五十三次之内 府中 喜多八』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 5. 二代歌川広重 | 『茶箱絵 (朝顔と桜に燕)』藤枝郷土博物館蔵 |
| 6. 作者不詳 | 『茶箱絵 (桜型に花鳥)』静岡市蔵 |
| 7. 作者不詳 | 『茶箱絵 (中国風花鳥画)』静岡市蔵 |
| 8. 作者不詳 | 『蘭字 (伊勢海老)』個人蔵 |

〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等のご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただきます。後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。



『広重生誕 220 周年記念 浮世絵と広告』

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

- | | | |
|-----------------------------|-------------|--------------------|
| 1. <input type="checkbox"/> | 展覧会ポスターイメージ | |
| 2. <input type="checkbox"/> | 歌川広重 | 『東都名所 吉原仲の町桜之圖』 |
| 3. <input type="checkbox"/> | 歌川広重 | 『名所江戸百景 する賀てふ』 |
| 4. <input type="checkbox"/> | 三代歌川豊国 | 『東海道五十三次の内 府中 喜多八』 |
| 5. <input type="checkbox"/> | 二代歌川広重 | 『茶箱絵 (朝顔と桜に燕)』 |
| 6. <input type="checkbox"/> | 作者不詳 | 『茶箱絵 (桜型に花鳥)』 |
| 7. <input type="checkbox"/> | 作者不詳 | 『茶箱絵 (中国風花鳥画)』 |
| 8. <input type="checkbox"/> | 作者不詳 | 『蘭字 (伊勢海老)』 |

貴社名：
_____媒体名：
_____ご担当者名：
_____TEL：
_____FAX：
_____E-mail：
_____画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00~16:00
_____掲載予定日 (コーナー名)： 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字寄せ等はお遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただきますため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp